

資料提供	
平成31年2月19日	
担当	境港管理組合総務課 田中
電話	0859-42-3705

### 平成30(2018)年 境港の取扱貨物量について〈速報値〉

○全体貨物量は、368万3,845トン（前年比0.6%増）に微増。輸出貨物については20万4,934トン（同0.2%増）、輸入貨物については194万4,445トン（同5.3%増）と共に増加した。移出貨物については21万7,612トン（同6.8%増）、移入貨物については131万6,854トン（同6.5%減）となった。

○コンテナ取扱貨物量（実入り）は2万5,807TEU（前年比2.6%減）であり、過去最高である平成29年（2万6,497TEU）に次ぐ貨物量となった。

#### □全体貨物

- 全体貨物量は、3,683,845トンと前年比0.6%の増加。
- 輸出貨物は、紙・パルプ等が減少したものの、水産品、木製品等が増加したことにより、204,934トンと前年比0.2%の増加となった。  
輸入貨物は、木材チップ等が減少した一方、化学薬品、原木等が増加したことにより、1,944,445トンと前年比5.3%の増加となった。
- 移出は、石材、紙・パルプ等の増加により、217,612トンと前年比6.8%増加した。  
移入は、原木等が増加した一方、石油製品等が減少したことにより、1,316,854トンと前年比6.5%の減少となった。

#### □コンテナ貨物

- コンテナ取扱貨物量（実入り）は、1～3月の日本海の荒天等の影響により前年比2.6%減の25,807TEUとなるも、過去最高である平成29年（26,497TEU）に次ぐ貨物量となった。  
航路別では、韓国航路が前年比3.2%減の22,989TEU、中国航路は前年比2.9%増の2,818TEUとなった。
- 輸出は、木製品、水産品等が増加した一方、紙・パルプ等が減少し、13,783TEUと前年比0.5%の減少となった。  
輸入は、鉄鋼等が増加した一方、産業機械、非金属鉱物等が減少し、12,024TEUと前年比4.9%の減少となった。
- 貿易相手国（上位の相手国）については、中国、韓国、アメリカが減少し、フィリピン、タイが増加している。

#### ～主要貨物の状況（出入区分別）～

<全体貨物>

（単位：トン）

外貿		H30	H29	増減率	内貿		H30	H29	増減率
輸出	紙・パルプ	122,015	128,584	-5.1%	移出	水	91,079	108,441	-16.0%
	木製品	29,462	26,553	11.0%		重油	76,682	69,754	9.9%
	金属くず	13,550	14,775	-8.3%		石材	23,021	2,856	706.1%
輸入	木材チップ	1,259,992	1,468,692	-14.2%	移入	石油製品	725,308	820,494	-11.6%
	原木	283,031	197,465	43.3%		セメント	302,579	319,050	-5.2%
	化学薬品	226,353	17,901	1164.5%		原木	132,305	92,690	42.7%

<コンテナ貨物>

（単位：TEU）

		H30	H29	増減率			H30	H29	増減率
輸出	紙・パルプ	6,884	8,072	-14.7%	輸入	木製品	2,367	2,151	10.0%
	木製品	2,881	2,294	25.6%		鉄鋼	2,004	1,649	21.5%
	水産品	1,049	522	101.0%		非金属鉱物	1,518	1,985	-23.5%

※ なお、今回発表する数値は速報値であり、今後変更になる可能性があります。

※ 国際定期フェリーは、韓国航路に含みます。

※ TEUとは、20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位です。（1TEU=20フィートコンテナ1本）